

# 平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	専修学校の実習施設設備を活用した体験学習講座「仕事のまなび場」を通し、高校生の職業観・就労観を育成する教育連携事業		
法人名	社団法人神奈川県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 岩崎 幸雄	担当者 連絡先	事務局長 鈴木 哲夫 T E L 045-312-2221

## 1. 事業の概要

専修学校の協力により、各分野での体験学習講座「仕事のまなび場」の実施と評価の研究開発を行った。評価に関しては技術よりも職業意識の啓発に重点をおき、多種多様なジャンルの講座を用意し、若年層にこれを提供した。

また、実施する側の専修学校および参加する側の高等学校にもアンケート調査を実施し、中学、高等学校、専門学校を通じて行えるキャリア教育のモデルカリキュラムの調査研究を行った。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

専修学校57校98プログラムで最大2,150名受入れ可能な体験講座を準備し、人気のある講座については、受入れ人数、実施期間の追加をするなど、最終的には102プログラムの講座が実施され、高等学校55校1,583名の高校生が参加した。

11月下旬には高等学校および専修学校の各校担当者が集い、実施報告会を行った。専修学校からは、参加者によるアンケート、実施校による実施報告書の集計結果を、高等学校からは代表して2校によるキャリア教育への取り組みについての報告があった。

双方の実施報告を受け、各担当者それぞれの立場で次年度の取り組みに対する参考になったようであるが、高等学校の取り組みに関しても学校間の温度差があり、モデルカリキュラムの調査研究については、1年生全生徒を対象に本事業を活用している数校の現状把握に留まった。

### ②事業により得られた成果

参加者によるアンケートの集計結果からは、「参加してよかったか？」という間に90%以上の生徒が「良い」と回答し、「将来の仕事を考える上で参考になったか？」という間には95%以上の生徒が「はい」と回答している。参加者は、高等学校では体験できない専門学校の特殊な実習機具や設備を活用した講座や、希望の仕事に就くために必要な学習、教育内容を体験することによって、将来を考える上のきっかけになったという感想を述べている。担当の先生から具体的なお話が聞けたり、質問する事ができたことも有意義だったようである。

高等学校からの「参加した高校生がどのような感想を持っているか」という問に対して、アンケートに書かれたままの感想を一覧にまとめて実施報告会で配るなど、双方それぞれの立場で今後の取り組みに活用していただけるような資料作成を心がけ、高等学校と専修学校における情報の共有化をはかった。

寄せられた感想には、生徒一人ひとりが自分自身の将来を真剣に考えていることが読み取れるものもあるが、まだ自分自身のこととして受け止められていない様子が伺えるものも多数あった。

このような報告結果を事業担当者のみが理解することに留めるのではなく、生徒たちに直接接するクラス担任や実施校の教職員の協力が必要でかつ大切であると感じた。

高等学校からの報告では、学力だけでなく、自分自身の能力や技量にあった進路先や就職先を探ることができるのだということを、本講座に参加することで、生徒それぞれがいろいろなことを感じて考えてくれるようになったということが大きな成果であると報告をいただいた。

### ③今後の活用

1年生全生徒参加で、どのような仕事があり、自分自身がどの分野に興味を持っているのかといったキャリアの動機付けに本事業を活用しているケースであったり、2年生や3年生で希望者を募って参加しているケースもあり、実施校の講座担当者からは参加者の温度差を感じるという報告がなされている。

上記のことから、それぞれの講座のねらいや目的、講座内容を明確に情報提供することによって、生徒たちが自分自身の希望に合った講座探しができるような仕組みを整備する。より多くの高校や高校生が本事業に興味を持ち、参加していただけるかを高等学校と実施校である専修学校の双方と連携をとりつつ継続実施していく。

神奈川県では、平成17年度から準備・試行してきたキャリア教育を、平成20年度より県立の高等学校で本格開始するにあたって、いきなり企業・団体でのインターンシップへ生徒を送り込むのではなく、日々職業教育に取り組み、産業界との太いパイプを持っている専修学校での体験講座を足がかりに、キャリア教育を推進していく上で本事業を活用していく方向のようである。専修学校は各地域産業の情報も把握していることから高等学校におけるキャリア教育を本事業を通して積極的に支援していく。

私立、市立の高等学校においても県立高等学校と同様に本事業で実施している体験講座等に関する取り組みを理解していただき、本事業を活用していただくよう働きかける。

### ④次年度以降における課題・展開

昨年度の反省で、参加者募集の締切が早く、夏の合宿や大会など夏休みの予定がその後に決まることから直前のキャンセル、当日欠席が多いという事項があがっていたので、以下の点で希望者募集の時期、方法を変更したところ参加者確定が実施日直前となってしまう、実施校の準備に大変な迷惑をかけてしまった。

- ・例年、人気のある講座にできるだけ多くの生徒が参加できるように調整に時間がかかるので事前にプログラムごとの希望者数を調査し調整を行ったが二度手間になってしまった。
- ・実施日ぎりぎりのスケジュールで参加者名簿の提出を半月ほど遅らせた関係で、出席名簿の作成に時間が掛かってしまった。

次年度は、参加希望者に複数の希望を伺い、厳選なる抽選を行い、調整作業の軽減化をはかる。

神奈川県で平成20年度からキャリア教育が本格的に開始にするにあたり、要望に応えられる講座数、受入人数の確保、講座内容の充実、体験できる事・目指す職種などプログラム内容のわかりやすさなど、今年度の反省点を踏まえた実施運営体制の整備・充実をはかる。

本協会のWebサイトを活用した情報提供を充実させ、高校生個人個人が希望の講座内容を調べたり、個々の講座担当者に質問ができるような仕組みを検討する。

また、抽選などの方法を導入し、参加者の調整など事務作業の軽減化をはかる。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①職業体験講座、講演会の実施

#### 【「仕事のまなび場」企画プログラム(講座)】

ジャンル	No.	プログラム名	専門学校名	参加者数
建築	1	建築の仕事を学ぼう	浅野工学専門学校	13
	2	あなたも建築家！？2次元/3次元CADでの作図方法	横浜日建工科専門学校	6
自動車整備	3	自動車を知ろう	厚木高等専修学校	16
	4	自動車整備を体験しよう	日産横浜整備専門学校	38
	5	プロ・メカニックの仕事をマスターしよう！(A)	横浜テクノオート専門学校	17
	6	プロ・メカニックの仕事をマスターしよう！(B)	横浜テクノオート専門学校	10
コンピュータグラフィックス	7	2Days グラフィックデザイナー	外語ビジネス専門学校	11
	8	3Dコンピュータグラフィックス入門	神奈川ビジネス・カレッジ	3
	9	3DCGのポストカードとムービーを作ろう！	アーツカレッジヨコハマ	11
	10	一人に魅せたくなる～クリエイティブデザインワーク	アーツカレッジヨコハマ	6
情報処理・ネットワーク	11	オリジナルマンガキャラクタをデジタル化しよう	横浜システム工学院専門学校	14
	12	ロボットの仕組みとプログラミング (A)	情報科学専門学校新横浜校	6
	13	ロボットの仕組みとプログラミング (B)	情報科学専門学校新横浜校	6
	14	Javaプログラミングを体験しよう	横浜システム工学院専門学校	4
	15	ロボットのコントロールから対戦までを体験しよう	横浜システム工学院専門学校	7
	16	ホームページを作成	厚木文化専門学校	9
	17	意外と簡単！コンピュータプログラミング	アーツカレッジヨコハマ	13
18	『君に合ったコンピュータ業界の仕事』を体験	総合電子専門学校	18	
マルチメディア	19	二日で挑戦！FlashゲームとWebサイト	アーツカレッジヨコハマ	10
情報セキュリティ	20	最新のIT技術と情報セキュリティの世界に触れてみよう	情報科学専門学校	5
フラワー・園芸	21	フラワーアレンジの楽しさを体験してみよう！	岩谷学園アールティスティックB専門学校	4
	22	訪問！「みどりの仕事」	日本ガーデンデザイン専門学校	4
バイオテクノロジー	23	バイオプロフェッショナルへの道	湘央生命科学技術専門学校	7
あんま・マッサージ・指圧・はりきゅう	24	スポーツトレーナーの仕事！(A)	神奈川衛生学園専門学校	22
	25	スポーツトレーナーの仕事！(B)	神奈川衛生学園専門学校	14
看護	26	あこがれの白衣の天使の仕事を体験してみませんか？	湘南平塚看護専門学校	76
救急救命士	27	救急処置法の理論と実際	湘央生命科学技術専門学校	13
歯科衛生士・歯科助手	28	歯科衛生士の仕事を体験してみよう。	関東歯科衛生士専門学校	4
	29	歯科衛生士の仕事と口の中	専門学校 新横浜歯科衛生士学院	11
歯科技工士	30	歯科技工士について学ぶ ー貴方の技術が笑顔を作るー	共生会歯科技工専門学校	6
臨床検査・臨床工学	31	臨床検査入門 ー医療におけるいろいろな検査ー	湘央医学技術専門学校	9
	32	臨床工学技士について学ぶ	ふれあい横浜専門学校	3
リハビリテーション	33	リハビリテーションを「リアル」する	横浜リハビリテーション専門学校	30
	34	作業療法士について学ぶ	横浜YMC A学院専門学校	9
栄養・調理	35	食は、すべてのキホンだ！	厚木調理師学校	16
	36	調理を体験しよう	相模原調理師専門学校	24
	37	お菓子も作れるシェフになる！～スープからデザートまで学ぶ《料理とお菓子》～	ヨコスカ調理師専門学校	14
	38	食と栄養のサイエンス・栄養士について学ぼう	横浜栄養専門学校	18
	39	プロの調理技術を学ぼう！	横浜調理師専門学校	26
製菓・製パン	40	(仮)わくわく調理、お菓子の体験学習をしよう	国際フード製菓専門学校	70
理容・美容	41	美容のテクニックを体験、体感しよう！！	関東美容専門学校	22
	42	美容とパーソナルカラーの関わりを体験しよう！	ふれあい横浜専門学校	18
	43	美容師って具体的にどんな仕事をするの？	鎌倉早見美容芸術専門学校	22
	44	ヘアメイクさんの仕事toゆかたフェスタ	鎌倉早見美容芸術専門学校	21
	45	トータルビューティ ～The Work For Beauty～(A)	岩谷学園アールティスティックB専門学校	25
	46	トータルビューティ ～The Work For Beauty～(B)	岩谷学園アールティスティックB専門学校	20
	47	トータルビューティ ～The Work For Beauty～(C)	岩谷学園アールティスティックB専門学校	30
	48	ヘア・メイク・エステ・ネイル実習を体験！	横浜 f カレッジ	100

ジャンル	No.	プログラム名	専門学校名	参加者数
福祉・保育	49	人と関わる仕事について学ぼう	横浜国際福祉専門学校	14
	50	介護福祉士の仕事を体験しよう	YMC A福祉専門学校	25
	51	福祉について考えよう	神奈川社会福祉専門学校	15
	52	保育の仕事を学ぶ(A)	YMCA健康福祉専門学校	18
	53	保育の仕事を学ぶ(B)	YMCA健康福祉専門学校	13
幼児教育	54	子ども理解 幼稚園と保育所に関わる内容	横浜高等教育専門学校	13
観光・ホテル	55	ホテル・ブライダル体験シュミレーション	外語ビジネス専門学校	15
	56	観光業界を学ぼう	ふれあい横浜専門学校	21
	57	ホテル・ブライダル・ツーリズムの仕事を学ぼう	YMCA国際ホテル・トラベル専門学校	18
	58	ホテル・ブライダルの仕事を学ぶ	日本ヒューマンセレモニー専門学校	10
ビジネス・秘書	59	ビジネスマナーとプレゼンを身につけよう-職場見学を含む- (A)	横浜経理専門学校	7
	60	ビジネスマナーとプレゼンを身につけよう-職場見学を含む- (B)	横浜経理専門学校	0
	61	ゲームで体験！一日社長！！	岩谷学園テクノビジネス専門学校	12
	62	事務職ってどんな仕事だろう？	グレッグ外語専門学校横浜校	9
医療秘書・医療事務	63	病院受付と医療事務	情報科学専門学校新横浜校	15
経理・簿記	64	フィナンシャルって何だろう？金融の世界に触れてみよう！	情報科学専門学校	9
ファッション・家政	65	ファッション業界で活躍したい人！！サマーワンピース&アクセサリー作りを体験しよう！	0FAカレッジ&ハイスクール	11
	66	「カジュアルトートバッグと帽子のデザイン・製作」	登戸ドレスメーカー学院	7
	67	トレンディーなFAワークを楽しく体験してみましよう	登戸ドレスメーカー学院	3
	68	日本文化 “きもの” を体験！ (A)	矢沢服飾専門学校	7
	69	日本文化 “きもの” を体験！ (B)	矢沢服飾専門学校	17
	70	オリジナルバッグ と アクセサリー	横浜ファッションデザイン専門学校	16
	71	染めて作って Tシャツ作り	横浜ファッションデザイン専門学校	10
	72	「MY FASHION」マップ作成	横浜文化服装学院	4
	73	アロハシャツを作ろう！	横浜文化服装学院	5
	74	ファッションビジネス人材養成の授業体験	米山ファッションビジネス専門学校	0
	75	和の文化 きものと色彩の体験！	矢沢服飾専門学校	19
	76	ファッションアイテム製作&ファッションコーディネート	横浜 f カレッジ	20
	77	自分サイズのスカートを作ってみよう	山本文化服装学院	1
	78	オリジナルネクタイの製作	横浜デザイン学院	10
	79	メンズ半袖シャツの製作	厚木文化専門学校	5
ブライダル	80	ブライダルスタイリング&フラワーアレンジメント実習とホテル見学	横浜 f カレッジ	31
デザイン	81	パッケージデザインの制作	横浜デザイン学院	12
	82	マンガ家に教わる表紙用キャラ画の描き方	横浜デザイン学院	14
	83	アニメ、イラスト、CG、ゲーム、グラフィックの仕事体験	横浜デジタルアーツ専門学校	55
音楽・ミュージック	84	ミュージック業界体験	横浜デジタルアーツ専門学校	32
	85	セルフ・プロデュース能力開発 — 音楽制作入門 —	専門学校 横浜ミュージックスクール	12
語学・留学	86	カッコいい英語↑カッコ悪い英語↓	外語ビジネス専門学校	12
	87	驚くほど身につく中国語♪	岩谷学園テクノビジネス専門学校	8
	88	すぐに使える英会話	グレッグ外語専門学校横浜校	13
	89	児童文学翻訳の世界へようこそ	グレッグ外語専門学校横浜校	10
貿易・通関	90	貿易の面白さを体験してみよう	外語ビジネス専門学校	8
スポーツ	91	身体の仕組みを理解した上でのトレーニング法とテーピング技術	横浜リゾート&スポーツ専門学校	21
	92	スポーツ・保育士の仕事を学ぼう	YMC Aスポーツ専門学校	14
ジュエリー	93	アクセサリー作りにチャレンジしよう！	横浜 f カレッジ	7
葬祭ディレクター	94	お葬式の仕事 — 葬祭ディレクターを知る —	日本ヒューマンセレモニー専門学校	6
デザイン	95	ロボット操作技術で製品設計をしてみよう！	アーツカレッジヨコハマ	5
	96	介護福祉士	和泉福祉専門学校	-
	97	フォトグラファーの仕事にチャレンジしよう	鎌倉早見美容芸術専門学校	10
	98	FM放送の番組企画&制作 高校生の企画がオンエアされる！	アーツカレッジヨコハマ	10
	99	介護福祉士	湘南医療福祉専門学校	6
	100	保育のお仕事体験 (A)	横浜保育福祉専門学校	54
	101	保育のお仕事体験 (B)	横浜保育福祉専門学校	33

## 【アンケート集計】

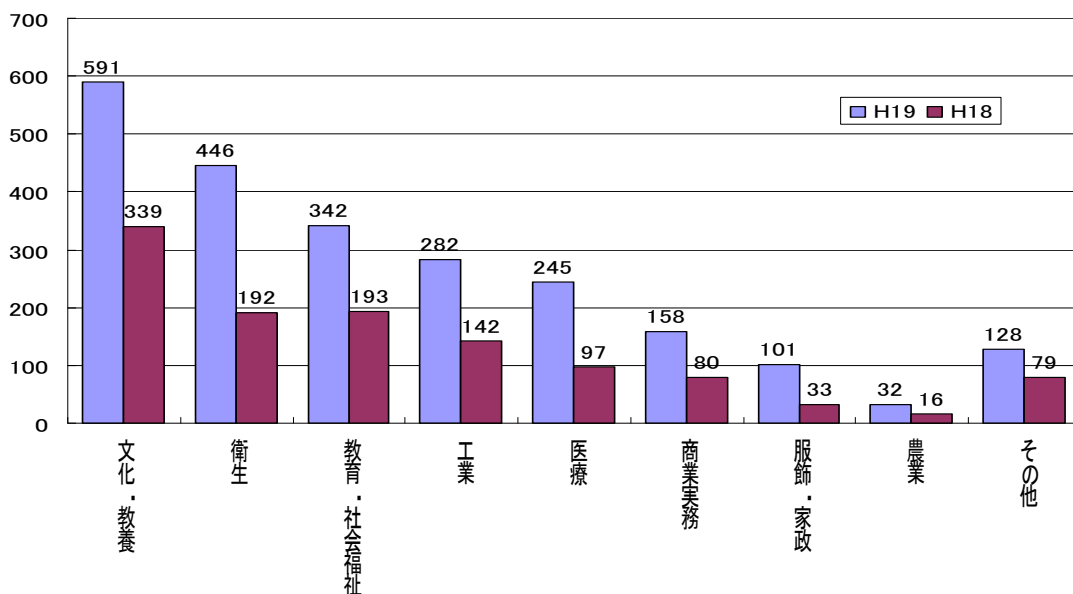
### A. 「仕事のまなび場」について

Q1 参加してよかったか？	良い	普通	悪い	その他		
	1,345	103	2	1		
	92.7%	7.1%	0.1%	0.1%		
Q2 将来に仕事を考える上で役に立ったか？	はい	いいえ	その他			
	1,385	46	21			
	95.4%	3.2%	1.4%			
Q3 将来に仕事を考える上で何が参考になった？	実習	講義	その他			
	1,051	544	46			
	64.0%	33.2%	2.8%			
Q4 来年も参加を希望するか？	はい	いいえ	その他			
	711	211	378			
	54.7%	16.2%	29.1%			
Q5 将来の希望進路は？	大学	短大	専門	就職	留学	その他
	755	239	763	127	43	66
	37.9%	12.0%	38.3%	6.4%	2.2%	3.3%

### B. 「将来の仕事(職種)」について

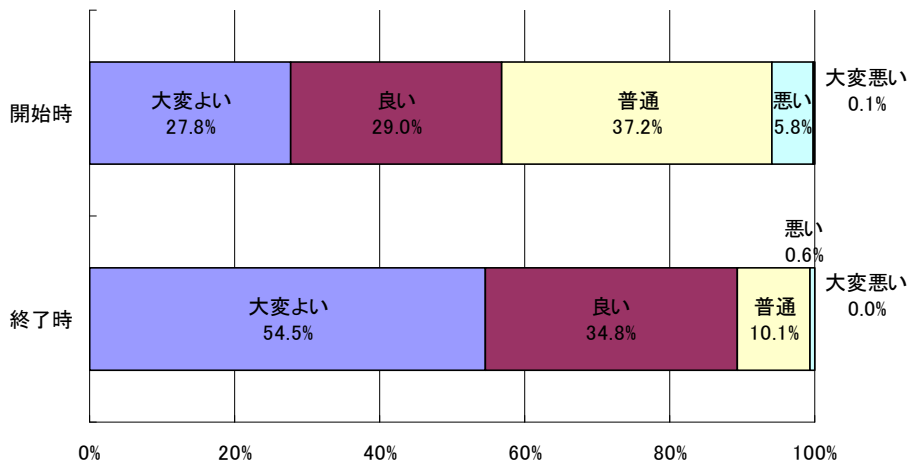
Q1 現時点で将来になりたい仕事(職種)はあるか？	はい	いいえ								
	994	445								
	69.1%	30.9%								
Q2 それは具体的にどのような仕事(職種)ですか？	工業	農業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	文化・教養	
	282	32	245	446	342	158	101	591	128	
	12.1%	1.4%	10.5%	19.2%	14.7%	6.8%	4.3%	25.4%	5.5%	
Q3 それはいつ頃決めたか？	小学生	中学生	高校生							
	177	549	276							
	17.7%	54.8%	27.5%							
Q4 Q1でいいえと答えた理由(一番近いもの)	仕事から分らない	魅力的な仕事がない	もっと先になって考えたい	フリーター希望	その他					
	145	116	140	2	55					
	31.7%	25.3%	30.6%	0.4%	12.0%					
Q5 今後、仕事(職種)を決める上で主に相談する人は？	保護者	先生	友人	その他						
	868	381	324	110						
	51.6%	22.6%	19.3%	6.5%						

### B. Q2 それは具体的にどのような仕事(職種)ですか？ (昨年度比較)

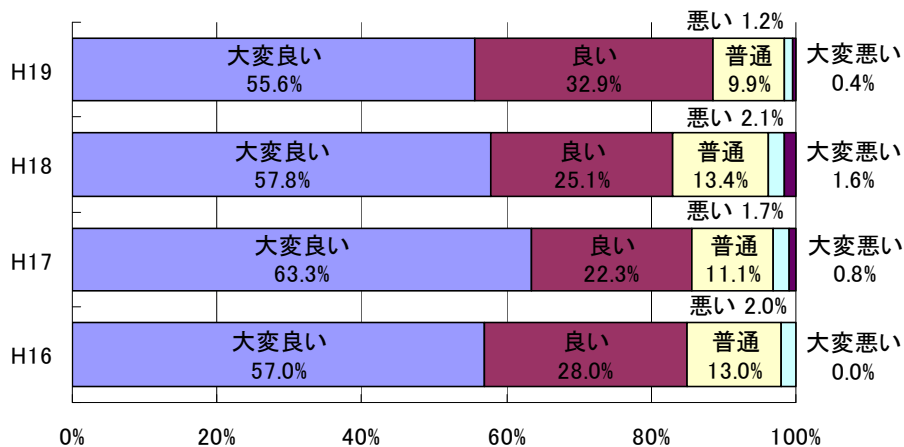


## 【実施報告書集計結果】

生徒の理解度（開始時と終了時との比較）



生徒の取り組み（4年間の比較）



## ②その他

体験学習講座を実施するにあたり、実施スケジュール、注意事項等を伝えるため6月に実施説明会を開催し、講座終了後は速やかに出席状況を回収・集計した結果を各高等学校宛に9月末には発送をもって報告した。

出席状況報告後、各実施校で集計した参加者アンケート結果を委員会で回収し全体集計・分析を行い、高等学校、実施校である専修学校の担当者を対象に、11月下旬に実施報告会を開催した。実施報告会では、委員会からのアンケート集計結果などの報告や高等学校からの報告を行うことによって、他校、他講座の実施状況や参加者の感想など情報の共有化をはかることができた。

委員会では、上記報告会での報告内容や意見・要望を受け止めて、年明けからは次年度の企画プログラムを募集を開始し、現時点で126講座、最大受入人数2,915名のプログラムが提出されてきている。